

# 新型コロナウイルスワクチン並びに感染拡大による医療機関への影響に関するアンケート調査結果概要

2021年3月12日

大阪府保険医協会は2月26日、府内会員医療機関4058件に「新型コロナウイルスワクチン並びに感染拡大による医療機関への影響に関するアンケート」をFAXで送信し、3月9日現在542件（13.4%）の回答がありました。その概要を報告いたします（以下は530件の回答分）。

## 速報 第1弾 COVID-19 ワクチン接種について

\*医療機関への影響（医院経営）については、来週以降に発表いたします。

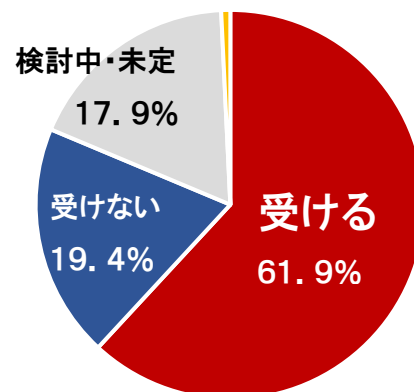
(1) 新型コロナウイルスワクチンの一般者への接種について先生のお考えは。（NA21件）

- 本来集団接種で行うべき **139件(26.2%)**
- 集団接種と個別接種の両方 **329件(62.1%)**
- 個別接種中心がよい **41件**

(2) 新型コロナウイルスワクチンの一般者への集団接種の出務について。

- ① 先生ご本人は（NA4件）
  - 受ける **328件(61.9%)**
  - 受けない **103件**
  - 検討中・未定 **95件**
- ② 貴医療機関の看護師は（NA20件）
  - 受ける **232件(43.8%)**
  - 受けない **161件**
  - 検討中・未定 **117件**

先生本人の集団接種の出務について

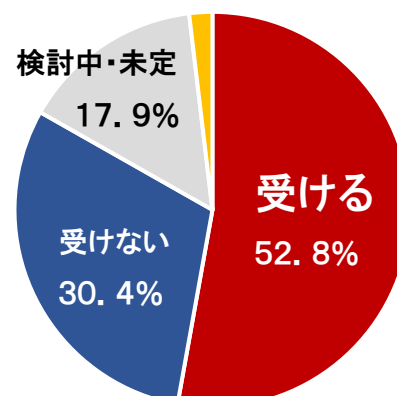


集団接種への医師の出務について、標榜科目ごとで見ても概ね60%前後になっており、最も低い科目でも38.9%となっていた。

(3) 大阪府では個別接種について調査がされます。先生は接種事業の委託を受けますか。（NA10件）

- 受ける **280件(52.8%)**
- 受けない **161件**
- 検討中・未定 **79件**

個別接種への対応について



個別接種について「受ける」と回答したのは、280件（52.8%）と半数を超えている。標榜科目別では、内科標榜の回答者の62.6%、外科・整形外科が62.5%、小児科が53.8%だった。耳鼻科・産婦人科・泌尿器科・精神科は概ね3割が「受ける」と回答している。

なお、「受けない」は161件（30.4%）と3割だった。

## ▼個別接種に対応する(検討・未定含む)医療機関への設問

### (4)委託を「受ける」「検討中・未定」と回答された方(対象359件)

#### ①接種した方には一定期間の「観察が必要」とされていますが、その対応は

控室を整えている	211件
一旦家に帰し何かあれば連絡	85件
その他	72件

複数回答者有

「控室を整えている」は211件(58.8%)が回答。委託を「受ける」280件に限ってみると「控室を整えている」は177件(63.2%)と6割を超えている。「その他」の回答者では、「待合室で対応」「診察時間と分けて対応」「車で待機」などが記載されていた。

#### ②救急体制について必要な物品としてアドレナリン、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の薬液、静脈路確保用品、輸液セット、生理食塩水をあげています。これらの物品について。

全て整えている	101件
一部整えている	235件
全くない	17件

複数回答者有

「全て整えている」は101件(28.1%)が回答。委託を「受ける」280件に限ってみると「全てを整えている」は85件30.4%と3割を超えている。「全くない」は17件で、「受ける」280件に限ってみると8件だった。こうした物品を揃えるにあたって「市か国が用意してくれると良いと思います」「行政からの納品を希望する」との意見もあった。

#### ③委託を受けるにあたって行政から接種後の対応や副反応が出た際の対処、接種者への情報提供に関する資料などの提供・説明はありましたか。

接種に関する情報がない	293件
行政から説明があった	33件
行政から接種者への配布物あった	38件

複数回答者有

「接種に関する情報がない」は293件(81.6%)に上る。委託を「受ける」280件に限ってみると「接種に関する情報がない」は223件(79.6%)とやはり8割を占めている。「検討中・未定」では9割近くになり、個別接種を受けるにあたって情報不足がネックになっているともいえる。

#### ④接種医療機関になるにあたって緊急時の対応など心配な点をご記入ください。

「受ける」方280件中、129件が意見あり。記入された意見は、救急車が迅速に来るのかという意見も含め「救急搬送先の確保」が64件と最も多かった。

次いで「アナフィラキシーショックへの対応」に関するものが20件あった。アンケート速報をもとにした大阪府保険医協会の理事会では、一般の方は「アナフィラキシー」と「アナフィラキシーショック」を混同している場合があるとの指摘があった。医師としては「アナフィラキシー」への対処はできるが、「ショック」状態の場合は、救命対応が求められる場合もある。特にワクチンに関する情報が少なく、こうしたことからアレルギー体質や持病があるかかりつけの患者に対してワクチン接種の判断が難しいという声は少なくない。

このような細かな点について、一般の方へのワクチン接種までに最低限の情報提供が必要と考える。

この他、通常診療への影響、アドレナリンやエピペンの配布、ワクチンが余った場合の対応、接種者がワクチン 1 バイアル当たり接種可能な5または6の倍数で予約がとれるか、訪問先で30分観察必要かなどの意見あり。また上記設問③「接種に関する情報がない」が対象者の8割以上を占めていることからわかるように、説明会がないことや、国の責任が曖昧という意見もあった。

## ▼個別接種に対応しない(検討・未定含む)医療機関への設問

(5)委託を「受けない」「検討中・未定」と回答された方(対象240件)、主な理由は何ですか。(複数回答可)

アナフィラキシーショックに対する備えない	147件	万が一の時に医療機関の責任になる不安	95件
接種後の観察用控室が確保できない	127件	接種に関する情報がない	59件
副反応への対応不安	108件	ワクチン有効性、ファイザー製薬2回接種	43件
スタッフ不足	107件	接種情報入力(V-SYS等)	41件
時間を割けない	98件	抗体依存性免疫増強(ADE)の不安	27件

「受けない」「検討中・未定」240件の方に理由を尋ねると(選択)、「アナフィラキシーショックに対する備えがない」が一番多く147件、次いで「接種後の観察用控室が確保できない」でした。

次に多かったのが「副反応への対応不安」108件、「スタッフ不足」107件と続く。

今回の接種ではV-SYSと言うシステムへの接種情報の入力が必要だが、この作業を理由にしている方も41件あった。通常の診療でも診察以外の入力作業が保険診療上の条件になり事務作業が多い中、さらなる事務作業増がネックとの声も少なくない。

### ● 個別接種委託「受けない」「検討中・未定」の主な意見

- ・トップダウンでは無理。現場を見て欲しい。
- ・ワクチンの運搬や予約の取り方等何もわからない。
- ・インフルエンザと同じように考えていましたが、コロナワクチンは受けられないです。
- ・接種者が集中すると通常の診療に影響するから。
- ・ショックに対しては医師一人では対応ができない。
- ・ワクチン管理が困難／ワクチン管理ができない。
- ・「ワクチンを取りに行く」「ドライアイスを用意して保管する」が無理です。
- ・小児科なので12歳未満しかする予定はない。
- ・一番の理由はV-SYSです／V-SYSは必要なのか？

大阪府保険医協会は、こうした結果をもとに、ワクチン接種に関する情報不足の改善、接種に従事する医療関係者の不安を改善する方策などを国や大阪府に求めていきたい。